

第37回  
全日本学生軟式野球選手権大会

主将会議 資料

日 時 平成26年8月17日(日) 13:00～  
会 場 岐阜都ホテル 2F 「輝」の間  
集合時間 12時50分(時間厳守)  
大会本部 070-5644-1833  
(大会競技委員長 中村 聖)

注 会議での説明、並びに決定事項は、部員全員に徹底させること。

## 主将会議次第

- 1 開会告知
  
- 2 出席者紹介（役員・理事紹介）
  
- 3 確認事項
  - ① 大会運営について
  - ② 講演会・開会式
  - ③ 大会特別規定について
  - ④ その他（ユニホームの確認等）
  
- 4 質疑応答

## ①. 大会運営について

本大会は2014年度公認野球規則および全日本学生軟式野球連盟の規定、並びに本大会における「大会特別規定」を適用する。

### 1 ベンチ入りについて

- (1) 試合中はベンチに入れる人数は登録された選手(30名以内)、マネージャー(人数は特に制限を設けない)、監督とする。  
※ベンチから溢れてグラウンドにでないように注意してください。
- (2) 服装はユニホーム及び正装とする。ただし、マネージャーはジャージも認める。監督もベンチ入りする場合はユニホームもしくは正装とする。
- (3) マネージャー及び監督の靴は白もしくは黒のスニーカーとする。
- (4) ベンチはトーナメント表の左側が一塁側、右側が三塁側とする。

### 2 メンバー表、選手交代について

- (1) 各大学の主将はメンバー表を5部(主審、相手側、アナウンス、記録、本部)持って、試合を行う球場の本部に集合し、メンバー表を交換する。第一試合については試合開始の40分前、第二試合以降については前の試合の5回裏終了後、メンバー表交換を行う。 2試合目以降に試合を行うチームは、前試合開始予定時刻の30分後までにチーム全員で球場に集合すること。もし遅れるようなことがあれば、主将が競技委員長の中村まで連絡すること。
- (2) メンバー表提出時、競技委員、審判員立会いのもと、両チームの主将はジャンケンで先攻、後攻を決める。
- (3) もし、当日分の選手登録の変更、追加をする場合は、指定の選手登録変更用紙(9ページ参照)に記入のうえ、メンバー表交換時にメンバー表と一緒に、毎回3部(相手側、本部2部)提出すること。  
なお、印鑑(主将印)がないものは認めない。
- (4) 試合中の選手の交代はその旨を主将か監督が審判に伝えること。
- (5) メンバー表では先発選手全てにフリガナをつけ、出身校も記入する。控え選手は、背番号と名前のみ記入。さらに控え選手については、選手登録用紙にアンダーラインを引いて提出すること。

(注) メンバー表・ベンチ入り選手に記入されていない選手はたとえ選手登録をしてもその試合には出場できない。(ベンチ入りも不可)

### 3 シートノック、グラウンド整備について

- (1) シートノックは試合開始20分前に行い、7分間までとする。後攻のチームが先、先攻のチームが後に行く。ノッカーを監督が務めることも可能だが、その際は必ず選手と同様のユニホームを着用すること。雨天等で省略する場合もある。
- (2) シートノック終了後と試合終了後、当該2チームの選手はグラウンド整備に協力をお願いします。試合終了後の整備では、ブルペンも忘れずに整備してください。  
なお、5回裏終了時には役員による簡単な整備を行う。
- (3) シートノック時のボール渡し等、ヘルメット着用に関しマネージャーはグラウンドへ立ち入れることとする。

### 4 アップ、ブルペン使用について

- (1) 長良川、KYBスタジアムでの球場外でのアップは禁止とする。  
(ランニング等はOK)
- (2) アップ時のユニホームは特に制限しないが、シートノック時からは各チームのユニホームを着用すること。
- (3) 2試合目に登板予定の投手は、7回表よりブルペンの使用を許可する。ただし、コールドゲームにより前試合が規定のイニングより早く終了する恐れがある場合、競技委員の判断により7回以前にブルペンの使用を許可する場合がある。
- (4) 第1試合の当該校は試合開始の1時間前より球場でのアップを許可する。

### 5 試合のスピード化

- (1) 投手の投球練習は、1回表、裏と投手交代のときは7球以内、2回表以降は3球以内とする。
- (2) 攻守交替は、駆け足で行うこと。
- (3) 打者はみだりにバッターボックスをはずさないこと。またサインを見る時にバッターボックスをはずさないこと。
- (4) 内野手の転送球は、投球練習後の1回以内とする。なお、天候状態、試合進行状況により、転送球を中止することがある。
- (5) 本大会規定により **7回以降7点差以上ついた場合はコールドゲーム**とする。

## 6 試合終了後

- (1) 試合終了後は次のチームのためにすばやくベンチを空け、ベンチ裏へ引き上げる  
こと。
- (2) その日の最終試合のチームは試合終了後、必ずベンチ、ベンチ裏の清掃も行って  
ください。
- (3) 2 試合目以降の試合開始時刻は実施要項に記載されている時間より最大で30分  
早くなる場合があります。試合終了後、次の試合のノック開始時間を10分後、  
試合開始時間を30分後予定とする。前の試合が延長で遅れた場合も同様。早め  
に行動するようお願いします。

## ②. 講演会・開会式

**講演会・開会式は、岐阜都ホテル 「輝」の間 にて行う。**

### 1. 集合時間

主将会議に参加しない選手・マネージャーは、15:00までに岐阜都ホテルに到着し、入  
口で受付けを済ませ、ホールに入場して着席すること。その時役員の指示に必ず従うこ  
と。

### 2. 服装

講演会・開会式に参加する者はスーツ着用（上着なくてもよい、Yシャツは白に限る）  
こと。必ずネクタイを着用すること。マネージャーも同様。

### 3. 注意事項

岐阜都ホテルは、館内全面禁煙。ボールルームも喫煙・飲食禁止です。館内の指定の場  
所以外での喫煙・飲食は禁止です。入場の際は、食料・飲料の持ち込みを禁止します。  
持ち込みが見つかった場合、こちらで処分・廃棄致します。

### 4. 休憩

講演会終了後10分間のトイレ休憩を取ります。

### ③. 大会特別規定について

## 第37回 全日本学生軟式野球選大選手権大会 大会特別規定

<適用規則>2014年度公認野球規則並びに全日本学生軟式野球連盟規約による。

### 大会、試合運営について

1. 各試合において審判員の判定は絶対的なものであり、審判員への質問、抗議は各チームの主将・監督からのみとする。
2. 天候等の事情で試合を中止する場合など、大会運営に関係する事柄については、当該審判員および大会本部の協議により決定する。
3. 試合は原則9回制とする。試合時間2時間45分を超える場合、同点の場合は、以下の特別ルールを採用する。(延長の場合は10回から)

#### 【特別ルール】

- 前回は引き続きの打順で行い、1塁にはバッターの前の打順の人、2塁には1塁の前の人、3塁には2塁の前の人を置き、1アウト満塁の状態から攻撃を始める。その回で勝敗が決しない場合、次の回は前回は引き続きの打順で同様に行い、勝敗は決するまで行う。最初の満塁にする場合において投手を走者から外すことが可能であり、その場合は打順のとおり走者をつめるようにする。
4. 得点によるコールドゲームは7回以降7点差以上とする(決勝戦は除く)。  
\*雨天、暗闇による中止について → 次ページ参照
  5. 攻撃時において怪我の応急処置等で時間がかかりそうな場合、当該選手からの打順の一番遠い選手(ただし、バッテリーは除いてもよい)への臨時代走を認める。なお、全ての記録は怪我人につく。
  6. 試合開始前の負傷による選手変更の特例については可能。先発予定だった選手は出場していないとみなされ、その後の選手交代で出場可能である。
  7. 試合開始30分前、正当な理由なく9人以上の登録選手がいないチームは試合放棄したものとみなし相手側に勝利を与える。
  8. 大会運営に関する注意事項ならびに大会役員・競技委員の指示は必ず守り、大会の支障なき運営に積極的に協力すること。

### 用具について

1. バットはJSBB認定マークつきの公認のもので、ひび割れ・へこみ等のない安全確認の取れたものとする。
2. 木製バットは、軟式用を使用する。
3. バットリングの使用禁止。ネクストバッターズサークル内には、打席で使うバットとマスコットバット(鉄製も可)の計2本まで持ち込める。(ロジンバックも可)
4. 打者・走者にはヘルメット着用を義務付け、ひび割れや欠損したものの使用は認められない。  
(ランナーコーチもヘルメット着用を義務付ける。同色であれば片耳でも可)

5. 以上の用具に関しては試合前に大会競技委員が安全確認を行い、安全確認が取れなかったものは試合での使用は認めない。
6. キャッチャーはヘルメット、マスク、レガース、プロテクターの着用を義務付ける。キャッチャーのマスクは、スロートガードのついているものとする。ただし、ブルペンで使うものについては、ついてなくてもかまわない。
6. ユニホーム
  - (ア) ユニホームは各チーム同色・同形のものでなければならない。ズボンにラインがあるチームはチームで同じデザインのもので着用すること。アメリカンロングパンツやリストバンドは、各連盟の規約に準じているものであれば、着用してもよい。
  - (イ) 帽子・ストッキング・アンダーシャツ・スパイクは各チーム同色でなければならない。ただし、スパイクに限りワンポイントの異色は許可する。(ラインは同色に限る、メーカーは問わない)
  - (ウ) 背番号は主将は10とする。  
主将会議の時に、各校ユニホームの確認を行うので必ず持参すること。その際、スパイク、キャッチャーマスクなど使用可能か判断するので持参すること。事前に問い合わせもすること。
7. サングラスは使用可。

試合中の天候による中止について

I. 5回以前に天候・グラウンド不良による中止

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
甲	0	2	0	0						
乙	1	0	0							

4回裏1アウト、カウント 2-1 で中止 ⇒ 同カウントから再試合

II. ①5回以後に天候・グラウンド不良による中止（裏で逆転）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
甲	0	0	0	0	0	1	1			2
乙	0	0	0	0	0	0	3			3

7回裏に逆転（7回裏攻撃中に中止） ⇒ 後攻（乙）の勝ち

②5回以後に天候・グラウンド不良による中止（表で逆転）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
甲	0	0	1	0	0	0	5			1
乙	0	0	3	0	0	0				3

7回表に逆転（7回攻撃中に中止） ⇒ 後攻（乙）の勝ち

III. 5回以後、初得点した表の回で天候・グラウンド不良による中止

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
甲	0	0	0	0	0	0	0	1		
乙	0	0	0	0	0	0	0			

8回表に初得点 1死、カウント 2-1 で中止 ⇒ 同カウントから継続試

合



## ⑤. その他

- ・ゴミは球場備え付けのゴミ箱を使わず、各自責任を持って持ち帰ること。
- ・ガムを噛みながらのプレーは禁止する。
- ・野球人のプライドを持ち、球場の方への挨拶を忘れないこと。
- ・大会期間中の負傷等に関しては、当方で応急処置は行いますが、それ以上に関しては各自の責任となります。(保険証を必ず携帯しておくこと)
- ・貴重品の管理には充分注意すること。
- ・喫煙所以外での喫煙は控えること。
- ・試合中は審判員、競技委員に絶大なる権限が与えられ、これに逆らうことはできない。
- ・雨天の場合、全く試合を行わない場合と、午前中見合わせて午後より試合を行う場合があるのでチームより積極的に大会本部に問い合わせること。
- ・スパイクを履いたまま更衣室・本部のある通路に入ってはいけない。
- ・カメラマン席に選手が入ってはいけない。
- ・熱中症について

大会期間中、炎天下でプレーすることになるので、立ちくらみ・目まい・頭痛・吐き気・倦怠感などの症状が出るたら熱中症の可能性があり無理をせず、風通しのよい涼しい場所に移動し、着ている服を脱がせ、首や脇、足の付け根を氷などで冷やして安静にしておくこと。自分で水分が取れない場合は危険なのですぐに医療機関へ搬送すること。

### ・病院について

長良医療センター

〒502-8558 岐阜県岐阜市長良 1300-7 TEL:058-232-7755

診察時間：月～金 8:30～10:30 休診日：土・日・祝

## 選手変更届

### 選手登録変更届

#### (1) 出場選手登録

氏名(フリガナ)	背番号	位置	投打	学部・学年	出身校(フリガナ)
			.		
			.		
			.		
			.		
			.		
			.		

#### (2) 同抹消

氏名(フリガナ)	背番号	位置	投打	学部・学年	出身校(フリガナ)
			.		
			.		
			.		
			.		
			.		
			.		

以上のように変更いたします。

平成 年 月 日

大学

主将

